

分野：②生態系・生物多様性

(春の生き物調べとしいたけの駒打ち)

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 ふじみ野こどもエコクラブ 40 人

所要時間



2 時間 30 分

場所 所沢市北岩岡

実施時期

令和 3 年 4 月 4 日

おおたかの森の再生地

概要

森の再生地は、かつては産廃施設の跡地を市民が購入して、森と草地と水辺の自然を再生している。自然が戻りつつある場所で、早春の生き物たちの息吹を感じながら、雑木林の手入れで得た樹木の有効利用の一環として、しいたけの駒打ち体験を行う。

プログラムの
ねらい

雑木林の保全活動で伐り出した樹木の有効利用の第一弾で、コナラの枝を 2 か月間乾燥させ、ドリルで穴を開け、しいたけの種駒を打ち込みホダ木として 2 か月間、湿気を保って静置しおよそ 1 年半、やっとしいたけが採れるようになる。長い年月を掛けて行われる生き物の力を借りた保全活動を体験してもらう。

プログラムの内容

1 挨拶と活動内容の説明 (20 分)

メンバー紹介と活動内容の説明

2 しいたけの駒打ち道具の説明 (10 分)

しいたけの種駒の扱い方と木槌とドリルの使い方

3 しいたけの駒打ちとしいたけ収穫

2 班に分かれる (45 分×2=90 分)

コロナ対策もあり密にならないよう 2 班に分かれ交互に行う。

① 駒打ちのドリルの穴あけと駒打ち

② しいたけホダ木置き場でしいたけ採り

4 後片付けと感想(30 分)



受講者の反応

駒打ちについて：初参加だったがとても楽しく活動ができた。早くしいたけが採れるといいと思いましたが、1 年半もかかると聞いてびっくりしました。ドリルがちょっと怖かったけれども優しく教えてもらったので、無事できてほっとしています。みんなの協力でたくさんの駒が打てて良かったです。早くしいたけが顔を出してほしいです。

しいたけ採り：大きなしいたけにびっくりしました。こんなに大きいしいたけはスーパーでは売っていません。しいたけが出なくなったらカブトムシが出てくると聞いてまたびっくりです。

分野：②

「プールのヤゴを救出しよう」

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立清進小学校 4年（110人）

所要時間



120分

場所 所沢市立清進小学校プール

実施時期

令和3年4月28日

概要

プールのヤゴを救出しよう

プールにはトンボのヤゴがたくさん棲んでいるが、水泳指導を行う前に、水を抜き清掃するとヤゴは全て流され死んでしまう。水を減らしたプールに入り、網でヤゴを救い分別し、水辺のビオトープや水槽、家に持ち帰って育てる。

プログラムの
ねらい

学校の水泳指導を行う前に、プールの水を抜き清掃するが、前年の夏からトンボが卵を産み、ヤゴになり羽化する前に流され全て死んでしまう。清掃前に水を減らしたプールに入り、網でヤゴを救い、種類ごとに分け、水辺のビオトープや水槽、各家庭でトンボになる様子を観察し、地域の自然を学ぶ。

プログラムの内容

3クラスなので各クラス30分で実施

1 活動内容の説明（5分）

救出したヤゴを大・中・小に分ける

2 プールのヤゴを救出（20分）

ヤゴがどこに隠れているのか、よく観察してから網で救い、プールサイドの容器に大きさに分けて入れる。

救出したヤゴは、水辺のビオトープと教室の水槽、家に持ち帰る人は容器に入れて持ち帰り、その後の経過を観察する。



受講者の反応

ヤゴを見るのが初めての子がほとんどで、最初は怖がったり気持ちが悪いと言って、手で持てない子がいましたが、慣れると上手に掬えて大喜びでした。

ヤゴがプールのどこに隠れているのかわからなかったのですが、上手に掬えることができました。教室の水槽で育てているヤゴが大きくなり、羽化してトンボになることを楽しみにしています。

分野：②

ツミとオオムラサキの棲める学校ビオトープを学ぼう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立清進小学校 4年（110人）

所要時間



1時間35分

場所 所沢市立清進小学校体育館

実施時期

令和3年5月14日

概要

ツミとオオムラサキの棲める学校ビオトープを学ぼう

プログラムの
ねらい

清進小には 25 年前から子ども達と育ててきた森と草地と水辺のビオトープがあります。

4 年生は 1 年間をかけて生きものたちが棲めるように活動を行います。

ビオトープの仕組みと意義と手入れの仕方をビデオとパワーポイントで説明

プログラムの内容

1 ビオトープの歴史（10分）

パワーポイントで説明

2 「森を守る」NHK（15分）

所沢周辺の自然について NHK が制作した番組を観る。
番組の中に清進小が取り上げられている。

3 清進小で行われてきたビオトープ活動

今まで行ってきたビオトープ活動をパワーポイント
で説明する。

4 ビオトープの目標を確認

受講者の反応

ビオトープを作る前の写真を見てびっくりしました。

生きもののためになるビオトープ活動を頑張ろうと思いました。

学校の中にビオトープがあることはうれしいことです。

手の入れ方で生きものが棲めるようになるとは、とても大切なことだと思います。

プールのヤゴも水辺のビオトープで育ててほしい

ツミが来てくれるなんてすばらしい、頑張ります。

分野：②

夏の生き物探しと森を豊かにしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立宮前小学校 5年(61人)

所要時間



1時間30分

場所 学校 → 徒歩 → 北中・水野の森

実施時期

令和3年6月22日

概要

夏の生き物の探しと森を豊かにしよう

プログラムの
ねらい

県のふるさとの緑の景観地に指定されている「北中・水野の森」で初夏の生きものの様子を調べ、スミシヤランなどが咲いてくれるように森の手入れをする。ハチの対処の仕方とヤマウルシの見分けかたを覚えてもらう。

プログラムの内容

1 活動に内容と注意事項(10分)

全員に蚊取り線香をつけてもらい、ハチに出会った時の態度とヤマウルシを説明

2 徒歩で北中・水野の森へ(10分)

歩きながら森の歴史と夏の生き物の様子を説明

3 ササを刈り取って森を豊かにする(50分)

かぶれるヤマウルシの見分け方と、アズマネザサが多くなると野草の種類と数が減ることを説明し、ササをハサミで刈りとり、積むとコオロギの棲みかとなることを説明

5 道具の確認と感想(10分)

6 徒歩で学校に戻る(10分)



受講者の反応

ヤマウルシを始めて見て、時計の針のように枝が広がっている不思議な植物だと思った。

森の中にキノコがたくさん出ていたので楽しかった。

ササを刈っていると、下からスミシヤが見つかった。

ササの間にハチが巣を作り始めていたが、説明を聞いていたのでハチを脅かさないで無事だった。

大きな森に入り、いい空気をたくさん吸うことができ気持ち良かった。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



分野：②

「夏の生きもの探しと外来種抜き」

環境アドバイザー

足立 圭子

対象

風の森狭山台みどり幼稚園さくら組（22人）

所要時間



1時間30分

場所

所沢市北岩岡森の再生地

実施時期

令和3年6月15日

概要

夏の生きもの探しと外来種抜き

プログラムの
ねらい

- ① 森の再生地の草地で夏の生きものを探し
- ② アカマツ山で外来種のおオブタクサを見つけて抜き
- ③ 水辺でメダカを見つけ、トンボのヤゴの抜け殻探し

プログラムの内容

1 活動内容と蚊取り線香（10分）

夏の生きもののお話と夏に元気な蚊に刺されないようにする蚊取り線香をつける（15分）

2 森の再生地の草地で夏の生きもの探し（20分）

チョウ、バッタ、トンボ、カナヘビ、トカゲ、カエルなど

3 アカマツ山で外来種を見つけて抜こう（2人1組）（30分）

外来植物のおオブタクサの葉をクリアファイルに差し込み
同じ形のものを探して抜く。抜いた草はバケツに入れて
草置き場に入れる

4 水辺でメダカやトンボのヤゴの抜け殻探し（20分）

オタマジャクシが多くて、メダカがなかなか見つからず、
大きなトンボのヤゴをたくさん見つけました。

頭上をギンヤンマが羽音をたて飛びました。

5 片付けと集合写真（10分）



受講者の反応

おオブタクサの葉を覚えました。アカマツの苗の周りのおオブタクサをたくさん抜いたので、苗が大きくなってくれるといいです。大きなトンボと細長いトンボが飛んでいました。

草むらにはバッタがたくさんいました。池の中にオタマジャクシがとてもたくさん泳いでいました。メダカはなかなか見つかりませんが、やっと見つけました。蚊取り線香を初めて付けました。ちょっと煙が出て匂いがしましたが蚊に刺されませんでした。

分野：②

「夏の生き物探しと外来種抜き」

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 風の森狭山台みどり幼稚園くす組（20人）

所要時間



1 時間 30 分

場所 所沢市くぬぎ山駒ケ原

実施時期

令和3年6月22日

概要

夏の生きもの探しと外来植物抜き

プログラムの
ねらい

自然再生活動が行われているくぬぎ山・駒ケ原で、様々な夏の生き物探しと外来植物を抜き、自然が豊かになる活動を行います。

プログラムの内容

1 大きな原っぱで夏の生きもの探し（30分）

虫メガネを使い、ねじれて花が咲いているネジバナの観察
バッタやカマキリ、チョウ、カナヘビを探す

2 外来植物のキクイモ抜き（40分）

一輪車に黒パットを積み、背の高さを超える草原で
外来植物のキクイモを探して抜く。抜いたキクイモ
を一輪車に乗せ、袋に入れて軽トラックまで運ぶ。

3 原っぱでクズを探して抜く（20分）

長く伸びるクズはアカマツに絡みつくと取れなくなる
ので、綱引きのリズムで皆が力を合わせて引き抜く。



受講者の反応

ネジバナの花はクルクル回ってピンクでかわいかった。バッタがたくさんいたので楽しかった。小さなカマキリも見つけた。背の高いキクイモを頑張って抜いた。大きいキクイモをたくさん抜けた。クズをみんなで力を合わせて引き抜きました。大きな原っぱはバッタもカナヘビも虫もたくさんいたのが楽しかった。暑かったので時々水を飲みました。

環境学習の様子（写真）



分野：②

学校ビオトープで夏の生きものを探しながら生き物の仕組みを学ぶ

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立清進小学校 4年（110人）

所要時間



3クラス40分

場所 校内のビオトープ

実施時期

令和3年7月7日

概要

校内にある草地・水辺・森の学校ビオトープで夏の生きものを探しながら多様な生き物の仕組みを学ぶ

プログラムの
ねらい

校内にある水辺と森と草地のビオトープでメダカやトンボの生きものを探しながら豊かになる手入れの方法を学び体験する

プログラムの内容

各クラス40分授業を3クラス行う

1 活動内容と注意点の説明（5分）

ハチに出会った時の安全な対処の仕方、全員に蚊取り線香をつける

2 草地と森のビオトープの説明（30分）

2班に分かれて15分ずつ活動する。

○森では、アズマネザサを覚えてから、ハサミで

根元から刈って黒パットにまとめて虫元氣に入れる

○草地では、外来植物のシロツメグサとアレチギシギシを

覚えてから、シャベルで掘り出しゴミ袋に入れる。

3 感じたことを発表（5分）

感じたことの発表と使った道具の確認



受講者の反応

森では、ササがたくさん生えていたので、刈り取るのが楽しかった。

バッタがたくさんできて面白かった。

土からキノコが出ていたので説明を聞いてよくわかった。

チョウが飛んできて楽しかった。

コガネムシが樹液を吸いに来っていた。


アレチギシギシの根が深いので抜くのが大変だった。

分野：②

学校ビオトープで秋の生きもの探しと豊かにする手入れ

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立清進小学校 4 年生（110 人） **所要時間**  3 クラス 40 分 120 分

場所 所沢市立清進小学校ビオトープ **実施時期** 令和 3 年 11 月 10 日

概要

校内にある水辺と森と草地のビオトープで秋の生きものを探しながら豊かにする手入れを学び体験する

プログラムの ねらい

校内にある森と草地のビオトープでアズマネザサを探してハサミで切り取り、草の虫元気に積み、秋の生きものを探す。
散策路にカケヤを使って杭を打つ

プログラムの内容

1 道具の使い方と注意点の説明（5 分）

ハサミをつかりアズマネザサを探して根元から切り取る。
散策路にカケヤで杭を打つ。

2 アズマネザサの切り取りと杭打ち（30 分）

2 班に分かれて

- ① アズマネザサが増えるとスミレやランの仲間、リンドウなどの花が咲かなくなり、次第に姿を消すので、根元から切り取って草の虫元気に積む。
- ② 散策路にカケヤを使って杭を打ち込む
一人が杭を抑え、もう一人が 180 度の反対側からカケヤで打ち込む。こうすると間違っても友達の頭にぶつからないようになるが十分注意をする。



受講者の反応

アズマネザサを探して根元から切るのは大変だったが、明るくなって地面に日が当たるようになったのが嬉しかった。

カケヤを使うのが初めてなので最初はおっかなびっくり振り下ろしていたが、中々杭が入ってくれなくて大変だった。友達を見ていたら杭を打つ時に大きな音が出るとカケヤの力が杭に伝わり早く打ち込めるのが分かって楽しくなった。

分野：②

学校ビオトープで外来植物を抜いて野草を植えよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立西富小学校 2 年生（78 人）

所要時間



1 時間 30 分

場所 所沢市立西富小学校

実施時期

令和 3 年 6 月 11 日

概要

学校ビオトープで外来種を抜き野草を植える

プログラムの ねらい

2020年度からつくり始めた水辺と草地と森のビオトープを観察し外来植物を抜き、水辺に野草を植える
1 クラス 45 分授業を 2 クラス行う

プログラムの内容

2 年生は 2 クラスなので 2 時間目と 3 時間目の 2 回に分けて行う

1 ビオトープの意味と活動内容（5 分）

外来種と水辺に植える野草を説明

外来種を抜く班と野草を植える班に分かれる

2 外来種を抜く（15 分）

外来種 2 種類を覚えてもらう。抜いた草は袋に入れる

3 野草を植える（15 分）

シャベルで穴を掘り、ポットで育てた野草を植える

4 水辺の観察（5 分）

水草や水の中や水草にやってきた動物を観察する

5 感想（5 分）



受講者の反応

草がたくさんはえてきたのでびっくりした。トンボがたくさん来ていた。

水の中にヤゴを見つけた。アカマツの赤ちゃんを見つけた。草には外来種と所沢の草があることが分かった。草の中にバッタを見つけた。小さなカマキリがいた。小さなカエルがいた。

分野：②

学校ビオトープで外来植物抜きと野草を植えて水辺の観察

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立西富小学校 1 年（79 人）

所要時間  1 時間 40 分

場所 所沢市立西富小学校

実施時期 令和 3 年 6 月 18 日

概要

学校ビオトープで外来植物抜きと野草を植えて水辺の観察

プログラムの
ねらい

2020 年から始めた森と草地と水辺のビオトープづくりに新しい 1 年生も参加するので、ビオトープの説明をする。

外来植物を抜いて野草を植える。水辺の生きもの探しとクロメダカを放流する。シャベルを使って野草を植える

プログラムの内容

1 説明と注意点（5 分）

ビオトープの説明、外来植物の見つけ方、
1 クラス 40 分の授業、2 班に分ける

2 草地で外来植物を抜く（15 分）

外来植物を見つけて抜く

3 水辺で外来植物を抜く（15 分）

水辺の周りで外来植物を見つけて抜き、野草を植える
水辺からクロメダカを放流する

4 道具の片付け（5 分）



受講者の反応

草の中にバッタがたくさんいたのでうれしかった。

野草を植えたのでチョウが卵を産みにきてくれる。

花咲いていてきれいでも外来種は抜きました。

クロメダカとヒメダカの違いを教えてくださいました。

メダカがいるとボウフラがいなくなると教えてくださいました。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



分野：②

北中・水野の森の夏の生き物探しと野草を豊かにするササ刈りと杭打ち

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 おおたかの森トラスト・こどもエコクラブ
(50人)

所要時間



4時間

場所 北中・水野の森

実施時期

令和3年6月20日

概要

北中・水野の森の夏の生き物探しと野草を豊かにするササ刈りと杭打ち

プログラムの
ねらい

初夏の北中・水野の森でどんな生きものがいるか歩いて、目で観て、耳で聴いて、匂いで感じてもらう。

スミレやニリンソウやランが咲く森を豊かにするため、外来植物抜きとアズマネザサを刈り取る。車が入らないように杭を打つ。

プログラムの内容

1 活動内容の説明(20分)

午前中は外来植物抜きとササ刈りの2班に分けて全員が2つの活動をする。
全員に蚊取り線香をつけてもらう。2 ササ刈り(40分) ニリンソウを覚えてもらい、ハサミと容器をもってササを刈る
刈ったササはササの虫元気に置き、コオロギなどの棲家にする

3 外来植物抜き(40分)

オオブタクサとセイタカアワダチソウを抜く

4 昼食(50分)

5 杭打ちと森の探検(60分)

昼食後、別の森に移動して道路際に杭を打つ

6 用具の片付けと確認(10分)

7 集合写真(10分)



受講者の反応

雨上がりで心配でしたが、蚊取り線香を付けたので蚊に刺されずに活動ができました。

今日もたくさんササを刈ったので、来年は野草の花が咲いてくれると思います。

杭打ちは土が固くて大変だったけれども頑張りました。

森の中に不思議なキノコが生えていて楽しかった。

オオブタクサをたくさん抜けたので良かった。

大きなミミズがたくさんいました。

分野：②

（宮前小周辺の自然を学ぼう）

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立宮前小学校 5 年生（61 人）

所要時間



1 時間 35 分

場所 所沢市立宮前小学校体育館

実施時期

令和 3 年 10 月 12 日

概要

宮前小の周辺に広がっている県ふるさとの緑の景観地「北中・水野の森」について総合学習「宮前小周辺の自然を学ぼう」を行う

プログラムの ねらい

宮前小周辺に広がる武蔵野の平地林「おおたかの森」の生きものをテレビ番組やパワーポイントを観ながら、森を守り育てる方法を学ぶ。

プログラムの内容

1 学校周辺の自然について説明（5 分）

山林と平地林について説明する

2 5 年生向けの NHK 番組を視聴する（15 分）

NHK が制作した 5 年生向け社会科の教材「とことん見聞録」を視聴する
題名「森を守る・おおたかの森」番組では市民と行政、こども達の保護保全の動きを分かりやすく捉えている。

3 パワーポイント「森の歴史と宮前小」（40 分）

15 年前から行われている「宮前小の自然を学ぼう」の授業と生きものの写真を使い説明する

4 質疑応答（35 分）



受講者の反応

人の手で作られた平地林ができて 350 年も経っているのにびっくりした。おおたかの森と名付けられた平地林が十分の一に減っているのがっかりした。テレビではいろいろな小学校やこどもエコクラブが頑張っていることに嬉しかった。宮前小でもたくさん勉強して森を残すようにしていきたい。カブトムシやクワガタだけでなくいろいろな昆虫が生きてい欲しい。次の授業で森に入るので楽しみにしている。

分野：②

おおたかの森で冬の生きもの探しと森を豊かにしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立宮前小学校 5 年生（61 人）

所要時間



1 時間 35 分

場所 北中・水野の森「おおたかの森 4 号地」

実施時期

令和 3 年 12 月 21 日

概要

北中・水野の森の「おおたかの森 4 号地」で冬の生きものを探しながら森を豊かにする活動

プログラムの ねらい

所沢市とおおたかの森トラストが購入した平地林で冬の生きものを探しながらノコギリや太枝ハサミ、剪定ばさみを使って森を豊かにする活動をする。

プログラムの内容

1 学校からおおたかの森へ徒歩（10 分）

冬の森を外から観察しながらおおたかの森に入る

2 注意する点を説明（5 分）

人の手が入ることによって森が豊かになる注意点を説明する

3 道具の使い方と残す樹木の特徴を説明（10 分）

なぜアカマツとヤマツツジの見分け方となぜ残すのか、刺のあるタラノキやキイチゴの切り方の注意点、太い木の伐り倒し方、そして切りだした樹木で虫元氣を作る意味を説明する。

4 生きものを探しながら活動（50 分）

5 使った道具の回収と感想（10 分）

6 徒歩で学校へ（10 分）



受講者の反応

冬なのに飛んでいるガがいた。葉がひらひらと舞って素敵だった。クワガタに会えないのが寂しかった。ノコギリの使い方が上手になって良かった。タラノキをノコギリで切る時は棘が刺さらないように注意をした。葉が風に吹かれて飛んでいた。葉が無くなって森が明るくなった。大きな木を切ったのでアカマツに日が当たるようになって嬉しい。森の中にゴミが落ちていたので皆で拾った。森が元気になってくれると嬉しい。

分野：②

親子でくぬぎ山の枯れたアカマツを切り出し虫探しをしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 風の森狭山台みどり幼稚園くす組親子
(36人)

所要時間



1時間30分

場所 くぬぎ山（所沢市下富駒ヶ原）

実施時期

令和3年12月7日

概要

自然再生事業が行われているくぬぎ山（所沢市下富駒ヶ原）で、親子で枯れたアカマツを探し、絡んでいるクズを取り除き、外来種のキクイモを抜きます。

プログラムの
ねらい

10年前に小学生の植えたアカマツが枯れないようにクズを取り外します。草地では、秋の虫を探しながら外来種のキクイモがたくさん生えたので、スコップとシャベルを使って取り出します。

プログラムの内容

1 くぬぎ山の説明（5分）

かつては産業廃棄物の煙突から黒い煙がたくさん出ていたが、所沢市が中心になって自然再生事業が進められている。

2 アカマツに絡んだクズを取る（30分）

小学生が植えたアカマツとつる植物のクズを見つける。アカマツの枝が折れないように丁寧にクズを取り外し、形を整え、根元に落ちている松ぼっくりをつけてクリスマスリースの完成。

3 外来種のキクイモを取る。（40分）

キクイモは繁殖力が強いので、スコップとシャベルを使って土の中に隠れている芋の部分掘り出す。

洗って茹でれば食べることができる。

4 原っぱで秋の虫探し(15分)



受講者の反応

広い原っぱで思い切り虫探しができるなんて、虫大好きな我が子にとっては最高の一日でした。大きなスコップが使えるようになったのでびっくりしています。キクイモは体にいいとお店でも売っていますが、外来種と聞いて困ったものだと感じました。アカマツを枯らしてしまうクズえ素敵なクリスマスリースができました。松ボックリもたくさん拾えたので飾りに使います。まだバッタがいて良かった。バッタって格好いいのね。キクイモはお父さんにあげます。

分野：②

親子でくぬぎ山の枯れたあか松を切り出し虫探しをしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 風の森狭山台みどり幼稚園
もみじ組親子（37人）

所要時間



1 時間 30 分

場所 くぬぎ山（所沢市下富駒ケ原）

実施時期 令和3年11月16日

概要

自然再生事業が行われているくぬぎ山（所沢市下富駒ケ原）で、親子で枯れたアカマツを探し、絡んでいるクズを取り除き、外来種のキクイモを抜きます。

プログラムの
ねらい

10年前に小学生の植えたアカマツが枯れないようにクズを取り外します。草地では、秋の虫を探しながら外来種のキクイモがたくさん生えたので、スコップとシャベルを使って取り出します。

プログラムの内容

1 くぬぎ山の説明（5分）

かつては産業廃棄物の煙突から黒い煙がたくさん出ていたが、所沢市が中心になって自然再生事業が進められている。

2 アカマツに絡んでいるクズを取る（30分）

小学生が植えたアカマツとつる植物のクズを見つける。
アカマツの枝が折れないように丁寧にクズを取り外し、
形を整え、根元に落ちている松ぼっくりをつけてクリスマスリースの完成。

3 外来種のキクイモを取る。（40分）

キクイモは繁殖力が強いので、スコップとシャベルを使って土の中に隠れている芋の部分掘り出す。
洗って茹でれば食べることができる。

4 原っぱで秋の虫探し(15分)



受講者の反応

こんなに広いところが守られたことに感謝します。クズがアカマツを枯らすことも知りませんでした。クズを取り除くだけでなくリースが作れるとは！原っぱを駆け巡ることも達の姿に喜びがこみ上げてきます。幼児期になかなかできない体験をでき嬉しです。

こどもがスコップやシャベルを使えるようになるなんていつもありがとうございます。

分野：②

親子でくぬぎ山の枯れたアカマツを切り出し虫探しをしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 風の森狭山台みどり幼稚園
さくら組親子（38人）

所要時間



1 時間 30 分

場所 くぬぎ山（所沢市下富駒ケ原）

実施時期

令和3年11月30日

概要

自然再生事業が行われているくぬぎ山地区の所沢市下富駒ケ原で、親子で秋の生きものを探しながら、アカマツに絡んだクズを取り除き、草地で増えた外来種のキクイモを抜きます。

プログラムの
ねらい

10年前に小学生が植樹したアカマツにはたくさんのクズが絡み、枯れてしまいそうになったので取り外します。

草地には外来種のキクイモがたくさん生えてきたので、掘り起こして芋の部分を取り出します。大きな原っぱではバッタなどの秋の虫を探します。

プログラムの内容

1 くぬぎ山の説明（5分）

かつてはゴミの焼却場から黒い煙がたくさん出ていましたが、今は所沢市が中心になって自然再生事業が進められている。

2 アカマツに絡んだクズを取る（30分）

小学生が植えたアカマツとつる植物のクズを見つける。

アカマツの枝が折れないように丁寧にクズを取り外し、形を整え、根元に落ちている松ぼっくりをつけてクリスマスリースの完成。

3 外来種のキクイモを取る。（40分）

キクイモは繁殖力が強いので、スコップとシャベルを使って土の中に隠れている芋の部分掘り出す。
洗って茹でれば食べることができる

4 原っぱで秋の虫探し(15分)



受講者の反応

大きなスコップを使ってキクイモの芋を探しました。たくさん掘れたので茹でて皆で食べます。キクイモはお店でも売っていますが、こんなところでたくさん増えてしまうのにはびっくりしました。クズのリースは素敵なのでクリスマス用に飾ります。クズを取ってもらってアカマツが元気になってくれるといいですね。キクイモもクズも、採ったものが有効利用で切るなんて素晴らしいですね。お父さんとキクイモをたくさん掘りました。

分野：②

妖精の棲める森の手入れをしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象

おおたかの森トラスト・
こどもエコクラブ（35人）

所要時間



4 時間

場所

所沢市と狭山市にまたがる平地林

実施時期

令和3年11月21日

概要

所沢市と狭山市にまたがる平地林でアズマネザサを見つけてハサミで刈り取り妖精の棲める森の手入れと散策路に杭を打ちロープを通す体験します。

プログラムの
ねらい

畑と屋敷林、平地林を眺めながら、秋の生き物を探しながら初めて活動を行う南入間野の森に入る。様々な平地林の姿を観察し、10年前に萌芽更新を行った森との違いを観察し春の妖精が棲める手入れを行う。保護活動を行っているすぐ隣で樹木が伐採されている様子も見て森の大切さを感じてもらう。

プログラムの内容

1 徒歩で現地へ（30分）

森の再生地に集合して畑や屋敷林の間を歩き、所沢市鎌倉街道緑地と狭山市南入間野の森の秋の生き物を観察しながら活動場所に到着

2 アズマネザサを刈り取る（80分）

野草の中からアズマネザサを見つけ出し、ハサミで根元から刈り取り入れ物に入れて一か所に積む。10年間に萌芽更新を行っているので背の低い樹木や野草の種類が増えている。アズマネザサを刈り取るとスミレやシュンランが姿を現してくれた。

3 森の中でお弁当（40分）

4 散策路に杭を打つ（60分）

貴重な野草を踏みつけないように、地域の人たちが通りやすいように両側に杭を打ち込みロープを通す。
すぐそばの伐採現場を見学

5 徒歩で森の再生地に戻る（20分）



受講者の反応 ササを丁寧に切るとスミレがたくさん見つかった。刈り取ったササを積んだところに夏になるとヘビの棲家になると聞いてびっくりした。ヘビのお家を作ってあげて良かった。明るい場所と暗い場所に来る生き物が違うことを聞いて、手入れをして良かった。杭を打つ時に中学生や高学年のリーダーがカケヤの使いかたを教えてくれたので上手に打てるようになった。皆で守ろうとしている近くで木をたくさん切っているのを見てとても残念だった。どうしたらこんなバカなことをするのか、鳥や生き物のことを考えると心配になる。

分野：②

堀兼・赤坂の森でアカマツとヤマツツジを元気にしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象

おおたかの森トラスト・
こどもエコクラブ（35人）

所要時間



4 時間

場所

堀兼・赤坂の森のおおたかの森 2 号地

実施時期

令和 3 年 12 月 19 日

概要

埼玉県と狭山市とおおたかの森トラストが購入して保全活動をしているおおたかの森 2 号地で、冬の生きもの探しをしながら、アカマツとヤマツツジを元気にする活動を行う

プログラムの
ねらい

植樹をしたアカマツとヤマツツジを覚えてもらい、アカマツの周りで大きく育ったリョウブやコナラ、ヤマウルシを見つけ、ノコギリや太枝切りバサミ、剪定鋏を切りだす。切った樹木は数か所に積んで虫元気にする。明るくなった場所にはアカマツやヤマツツジだけでなくリンドウ、スミレ、ヤマユリなどが咲き出す。こうすることによって明るくなった

プログラムの内容

1 集合場所か徒歩で現地へ（15分）

途中、森の中の生きものを探しながら歩く

2 活動内容の説明と道具の確認（15分）

残し樹木（アカマツとヤマツツジ）の見分け方、ノコギリ、太枝バサミ、剪定鋏の使い方と数の確認をする。友達に怪我が無いようにお互いに気を配る。

木の伐り倒しかたの説明。希少な野草の見分け方。

3 午前の活動（90分）

4 お弁当タイム（40分）

森の中で分かれて食事

5 午後の活動（40分）

6 道具の確認（15分）

7 感想（10分）

8 解散場所へ徒歩で（15分）



受講者の反応

去年はアカマツが途中から切られていたが今年は無事で良かった。ヤマツツジの見分けは難しかったが少し覚えられた。スミレの葉が見つかった。大きなスズメバチの巣が高い枝にできていたが冬は使っていないと言われて安心した。コロナで外に出られない日が続いているが、久しぶりに大きな森の中で汗をかいて気持ち良かった。大きな太枝バサミが使えるようになった。ノコギリで木を伐って倒す時にはお友達に手伝ってもらった。

分野：②

アカマツを元気にする森の手入れと薪割体験

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 ふじみ野こどもエコクラブ(30人)

所要時間  2時間30分

場所 所沢市おおたかの森の再生地

実施時期 令和4年1月9日

概要

旧産廃跡地に自然を再生地している「森の再生地」でアカマツを元気にする森の手入れと薪割り体験をする

プログラムの
ねらい

10年前に植えたアカマツが大きく育っていますが、他の木が生えてきているのでアカマツに日が当たるように周りの木を切り出し、薪割りをします。

プログラムの内容

1 説明(10分)

森の再生地歴史と説明、アカマツの見分け方、ノコギリの使い方

2 アカマツの周りの木を切る(40分)

鳥たちの糞で生えてきたネズミモチや小さな木をノコギリで切る。

3 マサカリの使い方の説明(5分)

安全でケガが無いようにマサカリの使い方の説明

4 薪割り(80分)

各自、自分の背丈に合ったマサカリと割る台を選び
少しずつ試しに割ってもらおう。

高学年のこどもは慣れてきくと割れるようになる。

割った薪でお湯を沸かす(釜土を使いお湯を沸かし
てお茶を飲む)

5 片付けと感想(15分)



受講者の反応

10年前に植えたアカマツが大きくなっているのがびっくりした。以前の森の再生地はゴミの処分場だと聞いて驚いた。皆が頑張れば自然が戻ってくることを目でみてすごいことだと思った。今ある自然を守ることも大切だと思ったので自分たちの周りの森を守る方法を教えて欲しい。マサカリはとても重くて初めは怖かったが上手に説明してもらったので割れるようになり楽しかった。こども達につられて自分も楽しく薪割ができた(参加者の保護者)お母さんが喜んで薪を割っていたのが楽しそうだった。

分野：②

平地林でアズマネザサを刈って落ち葉ケーキを作りカブトムシの虫元気にする

環境アドバイザー 足立 圭子

対象 おおたかの森トラスト・
こどもエコクラブ（55人）

所要時間



4 時間

場所 所沢市おおたかの森の再生地

実施時期

令和4年1月16日

概要

カブトムシや野草を豊かにするため、おおたかの森の再生地と周辺の森で、アズマネザサを刈り取り、落ち葉を掃き集めて落ち葉ケーキを作る。昼食に薪でご飯を炊き、豚汁を作り食べる。

プログラムの
ねらい

おおたかの森の再生地は、周囲を森で囲まれている。森の再生地だけでなく一体を守り育てるため、アズマネザサを刈り取り、熊手を使って落ち葉を掃き集め、大きな落ち葉ケーキを作る。熊手の使い方と落ち葉の束ね方、落ち葉ケーキがカブトムシの産卵場所になることも学ぶ。

プログラムの内容

1 説明（10分）

用具の使い方の説明①熊手の使い方、落ち葉ケーキ枠の組み立て方、落ち葉の束ね方、

②昼食のご飯炊きと豚汁作り

2 アズマネザサを刈り取り落ち葉を集める（90分）

ハサミでアズマネザサを刈り取り、熊手で落ち葉を集め大きな山を作る。枠を組み立て、落ち葉を入れ上から踏み固め、紐で縛って枠を取り外し、完成。

3 昼食用のお米を研ぎ、豚汁材料を切る。枯れたアカマツの薪を使い、釜土でご飯と豚汁を作る。

4 昼食後に枯れたアカマツで薪を割る。（40分）

5 道具の片付けと感想



受講者の反応 落ち葉ケーキづくりは楽しかった。大きな熊手も上手に使えるようになった。アズマネザサを切っておくと落ち葉を集めやすいことが分かった。落ち葉を掃くと下からスミシがたくさん見つかった。小さな草の中に虫が休んでいたのは可愛かった。落ち葉が大きな固いケーキになるのは不思議だ。薪割りに使ったマサカリは重たかったが薪が割れた時は感激した。今日割った薪は後から使う人のためだと分かり、頑張ってた良かった。薪で炊いたご飯は超美味しかった。豚汁も美味しかった。